

参考資料＜友好提携都市＞

北海市（中華人民共和国）		 （市章なし）
締結日	1996年3月5日締結	
概要	人口：約174万人（2017年） 気候：亜熱帯海洋性気候 平均気温：22.9℃ 平均年間降雨量：1,775mm 産業：電子部品、食品、医薬品、花火爆竹、 製造業、真珠養殖	




中国南端にある広西壮族自治区南部沿海のトンキン湾の東北岸、南流江の河口（香港の西方約500km）

北海市は、1984年に中国14の沿海開放都市の1つとして指定され、年々経済発展を遂げている。中国でも有数の白砂が24kmも続くシルバービーチには、夏になると国内外から多くの海水浴客が訪れるなど観光資源も豊富。2010年11月には、中国国務院の認可により、北海市が「国家歴史文化名城」に指定されている。



八代市と北海市の交流は20年以上も続いており、最近の交流では、両市の中学生や高校生を相互に派遣し合い、ホームステイをしたり、学校の授業体験を行ったりと学生を中心とした交流が行われている。

基隆市（台湾）		 
締結日	2018年4月19日締結	
概要	人口：約37万人（2016年） 気候：温暖湿潤気候 平均気温：25.4℃ 平均年間降雨量：3,755mm 産業：物流（海運・陸送）、観光 海産物、食品加工	

台湾の最北端（台北市から東方約30km）



基隆市は戦前の日本が残した都市基盤を下に、軍用の港湾都市として発展した。基隆港は台湾第2位の貨物取扱量を誇り、港周辺の整備による観光化が進められ、大型クルーズ船等の船舶による観光客数が多く、寄港回数及び乗船客数が台湾でトップの座を獲得するなど、国際的なターミナル港として更なる発展が見込まれている。

台湾との定期航路の誘致や経済交流を目的として、台湾基隆港と友好交流確認書を締結したことがきっかけとなり、基隆市内で物産フェア「県南フードバレーフェア in 台湾基隆市」を3年連続開催。両市の相互交流を重ね2018年4月に友好交流協定を締結した。

